

**30歳のつどいを開催し、市政政策のPRの場としては**

**市長** 市が主催するつどいは考えていない。



末続浩二郎 議員

**二十歳のつどいについて**

**議員** 二十歳のつどいが開催されることとなった経緯、新型コロナウイルス感染拡大時の中止の判断は。

**教育長** 令和4年度に18歳から20歳を迎える方々、及び市内高等学校に対して、アンケートを実施し、「今までどおり20歳がよい」との回答が92%を占めた。中止の判断は県の感染防止対策を踏まえ判断。県が行動規制を行わない限り実施予定。

**議員** 市政をアピールする場としての「30歳のつどい」を開催する考えは。

**市長** 現在、市が主催する30歳のつどいの開催は考えていない。

**議員** 熊本では、30歳がまちづくりを考える「三益式」が開催され、甲賀市では、30歳の交流会・同窓会の開催を支援している。支援の導入は。

**市長** 議員の発言は、次の段階へステップしていくきっかけとなると思う。

**農業支援について**

**議員** 農業基本計画の圃場整備は令和6年度で26%の整備率とあるが。

**農林水産部長** 現在25・8%の整備率、目標は達成できる。

**議員** 農地中間管理機構関連農地整備事業の現状は。

**農林水産部長** 10地区ほど相談があった。1地区は地元協議が行われているが未申請。農地中間管理権、担い手への農用地集積、収益性の20%向上、整備費の費用対効果が1以上等の採択要件。要件

緩和等を訴えており、農道整備、用排水路整備は本年度から事業採択。優良農地の活用は、担い手不足や高齢化が進む中、農地の集積、集約を推進する必要がある。農業委員会と連携し、担い手への集約を推進。



質問の様子を動画で見よう



整備が進む圃場(空池原地区)

**議員** 販路拡大への取組は。

**農林水産部長** 商談会開催、商談力セミナー開催、ECサイト、インターネット活用など販売促進セミナーも開催。

**議員** 人口減少歯止めのためにも1次産業の振興に努めてもらいたい。

**市政を問う**



吉岡 巖 議員

**有家グラウンド改修について**

**議員** 有家グラウンド横のナイターがついている小さいグラウンドを、雨天練習場に改修できないか。

**市長** 本年4月に供用開始した多目的運動広場に雨天時にも利用可能な屋内交流広場を整備した。現在サッカーをはじめ、ソフトボール、野球等の練習に御利用いただいている。まずは、既存の施設を有効に活用していただければと思う。

**世界遺産センターの建設について**

**議員** 費用対効果を市長にお願いしたら、まだ積算ができていないということだったが、建設した場合、年間何億、何十億ぐらいの費用対効果が出てくるのか。

**市長** 具体的な数字はまだ述べられないが、総論的なところでは一応考えている。

**議員** 今は時期尚早じゃないか。なぜならば、農業、漁業、製造業、運送業、異常なまでの物価高、資材高騰によつてみんな四苦八苦している。南島原市は一次産業のまちで資材が高騰するたびに経営を圧迫するわけで、廃業に追い込まれたり、後継者を外に働きに出す。そうすると南島原市は人口減少が起きてくる。一次産業をとにかく手助けしてやるべきではないか。誰が何と言おうと頑固一徹で、地場産業の支援がまず第一と、信念をもって

買っていたきたい。

**南島原市公共施設等総合管理計画について**

**議員** 南島原市公共施設等総合管理計画は何のためにあるのか。

**総務部長** 南島原市の公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画では、布津庁舎は建て替えを目標として、布津公民館、布津図書館との複合化を検討することで計画を定めているところである。

**議員** 一番に決まったところが後回しにされるのはおかしいのではないか。総務部長が変われば計画も変わるのか。

**副市長** もう基本的には複合施設として、布津支所(庁舎)を建て替えるということと動いている。



屋内交流広場(南島原市多目的運動広場)



質問の様子を動画で見よう